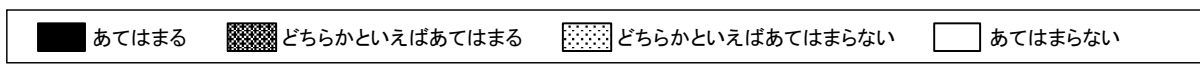


令和元年度 岩倉中学校 学校評価(生徒・保護者・教職員アンケートの結果と考察)



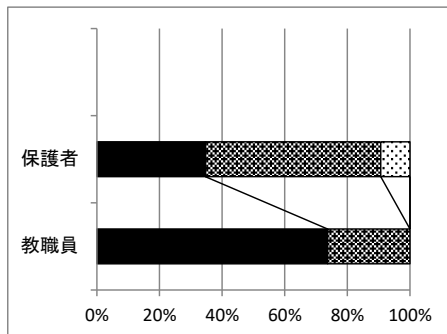
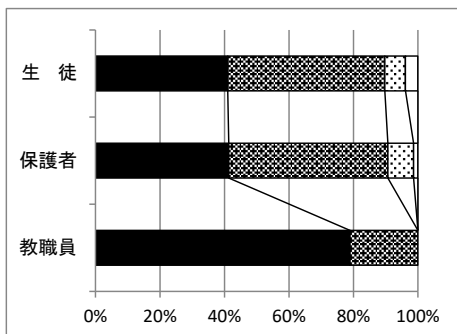
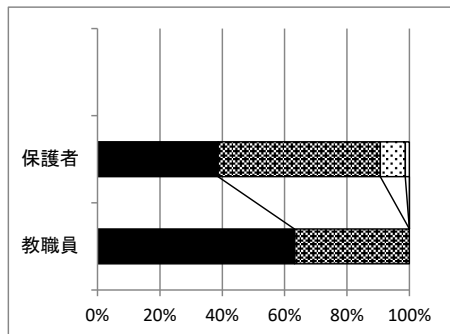
調査回答者数 生徒:74名, 保護者:69名, 教職員:11名

1 学校に関する項目

【1-1】 学校は、授業や諸行事等、教育活動がよく公開されている。

【1-2】 魅力ある学校行事(体育祭・文化祭・合唱コンクール等)が行われている。

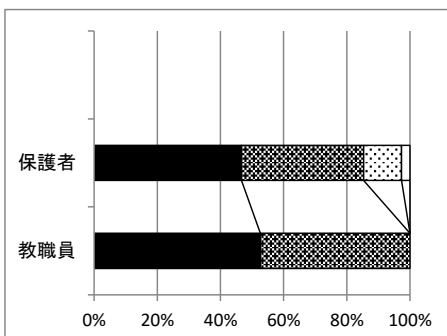
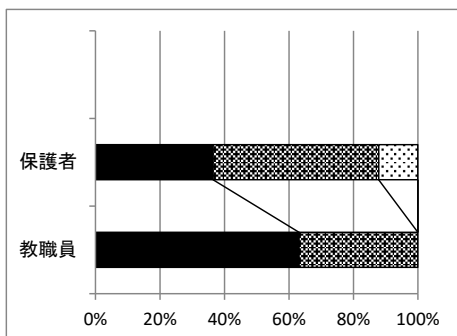
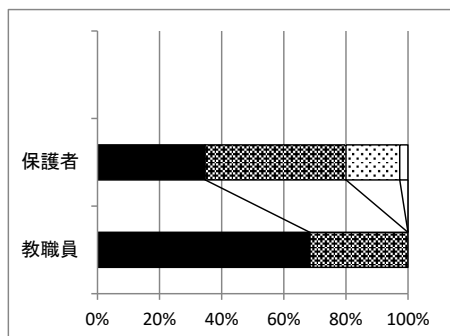
【1-3】 学校は、家庭への連携を積極的にやっている。



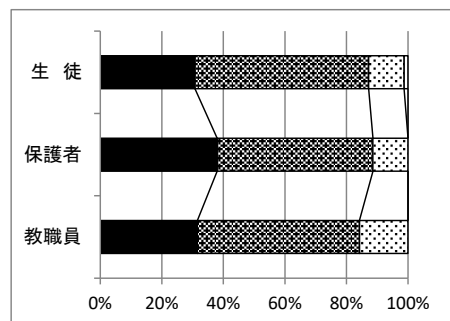
【1-4】 学校は、問題が生じた場合など、迅速に対応できている。

【1-5】 PTA活動など、家庭と学校の協力関係がある。

【1-6】 学校訪問者(保護者も含む)に対して、教職員の対応はよくできている。

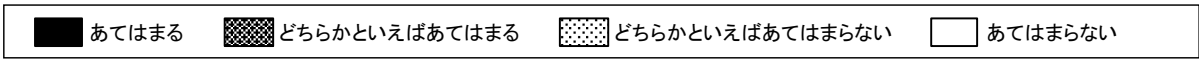


【1-7】 学校の施設・設備は、安全で快適に生活できるように整えられている。



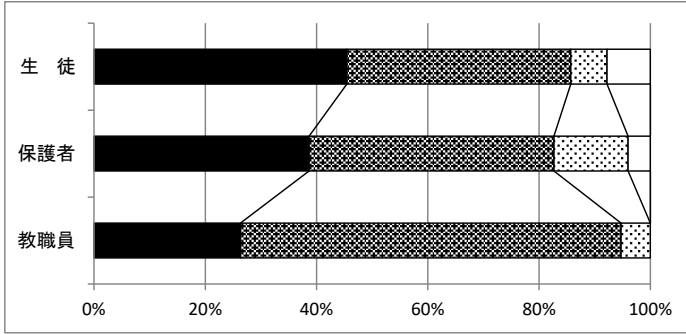
学校評価のアンケートは、保護者に加えて生徒および教職員にも実施しています。評価の項目については、生徒・保護者・教職員に対して、それぞれ同じ内容を質問し、比較できるようにしています。また、評価については、4段階の回答とし、設問に対して肯定的か否定的かの判断ができるようにしています。

1 学校に関する項目に対しては、全体的に生徒・保護者とともに「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」が約80%を超えており、学校の取組を概ね肯定的に捉えており、昨年度より全ての質問項目においてポイントが上がっています。特に、【1-3】、【1-4】では、肯定的な捉えている割合が昨年度よりそれぞれ10、12ポイント上がっています。家庭との連携が円滑に図れ、学校内におけるさまざまな問題に対応している学校の取組を肯定的に理解してくれている様子が分かります。昨年度からの課題であった「家庭との連携」、「学校の取組の理解」について少しずつ改善が図られていると考えます。来年度も、さらに家庭や地域との連携を図りながら学校運営を向上させていこうと思います。

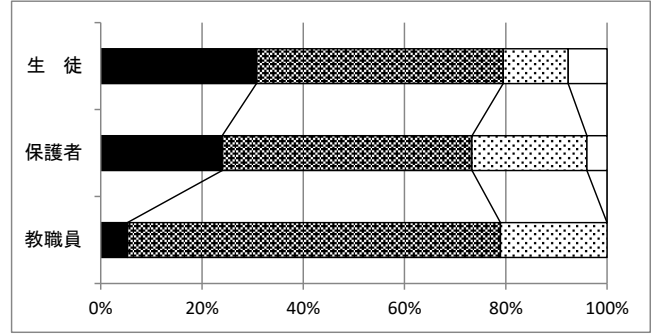


2 子どもに関する項目

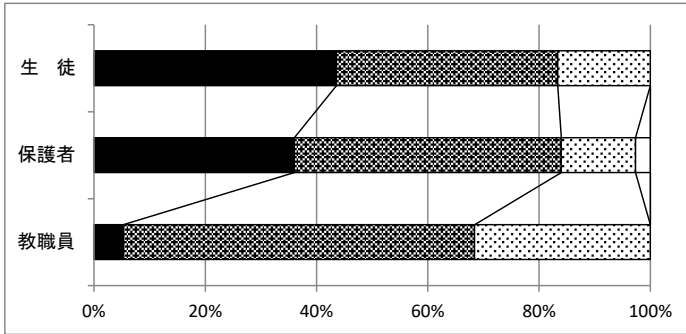
【2-1】子どもは、学校生活を楽しいと思っている。



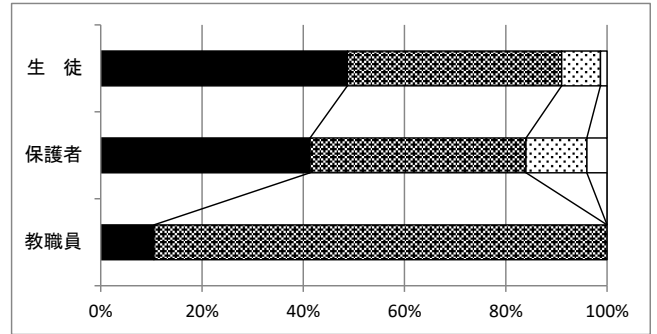
【2-2】子どもの学習意欲は向上している。



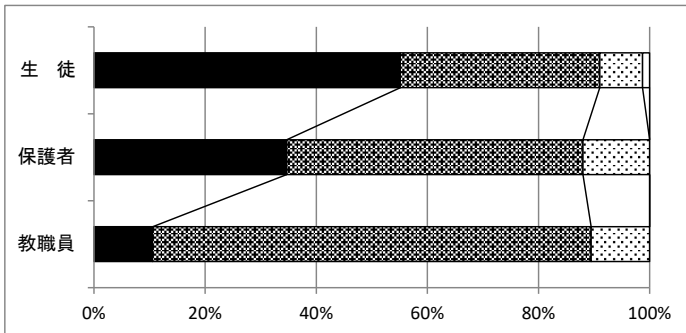
【2-3】あいさつなど社会的なマナーが身についてきている。



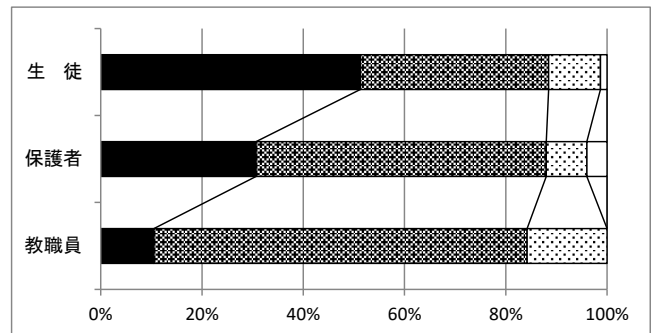
【2-4】子どもは、よい友人関係を作っている。



【2-5】他人を思いやる、命を大事にするなど、子どもの豊かな心が育ってきている。

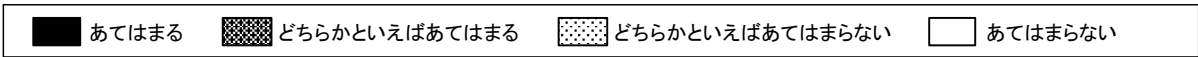


【2-6】基本的な生活習慣が身についてきている。



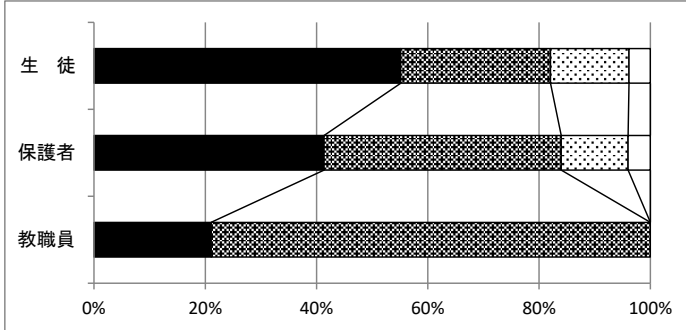
2 子どもに関する項目では、生徒・保護者とも「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の評価が多いことが分かります。しかし、教職員の評価はそれほど良くなく、「あてはまる」の割合が少なく、「どちらかといえばあてはまる」の割合が多くなっています。ここから、教職員が十分に満足いく成果として上がっていない認識であることが分かります。また、【2-2】、【2-3】、【2-5】の質問について、生徒と保護者が「どちらかといえばあてはまらない」と考える割合が昨年度より増えています。基本的な挨拶やマナーの確立、学習に対する意欲の向上、豊かな心の育成が今後の課題だと思います。来年度には、それらの項目で、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合がすべて80%を超えるように指導していきたいと思えます。

昨年度の調査と比較してみると、それぞれの質問について、肯定的な評価に変化はありませんが、先述した項目については、来年度の取組の重点項目として学校での教育実践の改善を図らなければいけないと感じます。改善の方向性としては、まず道徳の実践の充実が重要であり、指導内容の見直しや授業の在り方、進め方などについて研修などを通して改善を図っていきたいと考えています。

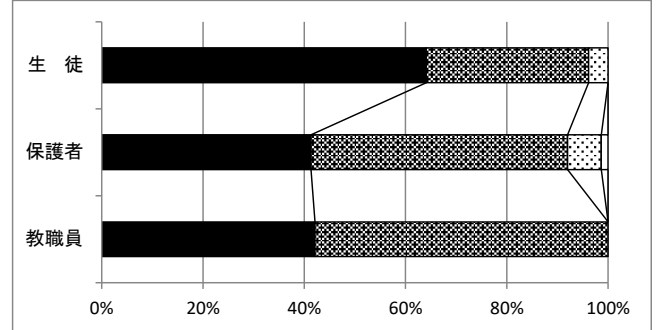


3 教員に関する項目

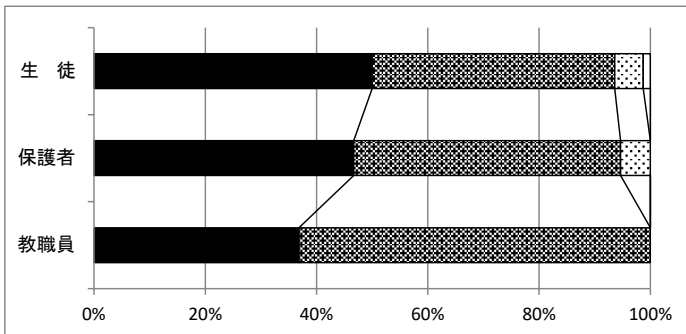
【3-1】先生は生徒(保護者)の意見, 相談をきちんと聞いてくれる。



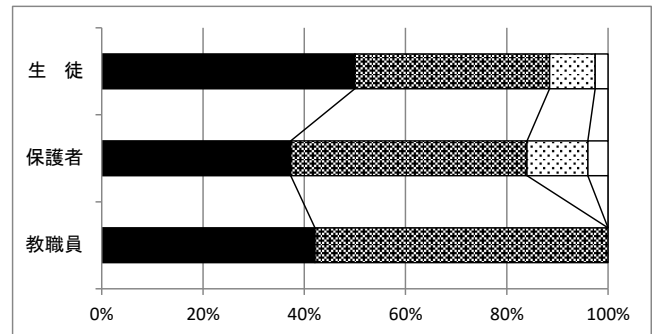
【3-2】先生は子どもの安全指導に努力している。



【3-3】先生は教室環境, 学校環境の美化に努めている。

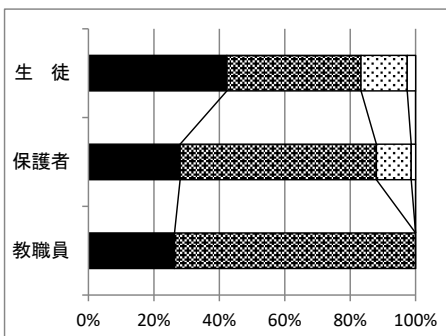


【3-4】先生は子どもたちの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。

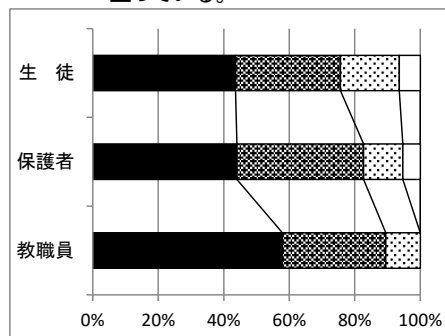


4 授業に関する項目

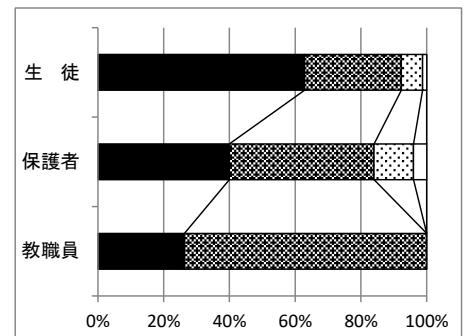
【4-1】指導方法を工夫し, わかりやすい授業が行われている。



【4-2】教科によって授業を2名の先生で行っていることは, 学力向上に役立っている。



【4-3】「命の大切さ」や「人権」についての学習が十分行われている。



3 教員に関する項目について, 教職員の取組に関して, 概ね「あてはまる」, 「どちらかといえばあてはまる」の肯定的な評価が高くなっています。【3-1】, 【3-2】の質問項目について, 生徒の評価は, 昨年度と比較して16, 10ポイント上がっています。それに伴って, 保護者の評価も昨年度より上がっています。生徒との教師間の信頼関係も良好であり, 生徒が安心感を持って過ごしている様子が見られます。今後も, 生徒や保護者との信頼関係づくりに努め, 生徒が安全・安心して学校生活を送れるよう指導・支援の充実を図っていきたいと考えています。

4 授業に関する項目については, 概ね肯定的な評価が表れています。しかし, 昨年度の調査と比較して, 【4-1】の質問項目については, 生徒の評価が「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計で7ポイント下がり, 【4-2】については, 生徒の「どちらかといえばあてはまらない」の評価が8ポイント上がっており, 「授業内容の分かりやすさ」について評価が下がっているのが見られます。【4-2】については, T, Tによる学習指導が生徒の学習への取組に有効に活用できていないと考えられるので, よりよいT, Tによる学習指導の充実を図りながら生徒の学力向上をめざしていきたいと思います。【4-3】についても, 教職員の肯定的な評価が高まっていますが, それが生徒の生活に生きてくるような教育実践に取り組んでいきたいと考えます。